

目次

第一章 序論.....	01
1.1 研究動機と目的.....	01
1.2 研究方法と範囲.....	03
1.3 コソアの意味拡張に関わる認知言語学の概念.....	04
1.4 本稿の構成.....	06
第二章 先行研究—いわゆる指示機能を持つコソア—.....	08
2.1 はじめに.....	08
2.2 現場指示.....	09
2.2.1 人称区分説—佐久間（1936、1951）、神尾（1981）—.....	09
2.2.2 距離区分説—服部（1968）、阪田（1971）—.....	10
2.2.3 折衷型—人称区分説と距離区分説の中間型—.....	10
2.2.4 人称区分と距離区分で説明できない用法.....	12
2.2.5 現場指示のまとめ.....	13
2.3 談話における文脈指示.....	13
2.3.1 共有知識仮説—久野（1973）—.....	14
2.3.2 共有知識仮説への反論.....	14
2.3.3 記憶階層モデル—吉本（1992）—.....	15
2.3.4 ア系語のレットリック用法—吉本（1992）、金水（1999）.....	16
2.3.5 談話管理理論—金水・田窪（1990）、田窪・金水（2000）—.....	16
2.3.6 談話文脈領域のこの使い分け.....	17
2.3.7 談話文脈指示のまとめ.....	17
2.4 文章における文脈指示.....	18
2.4.1 庵（1994a、1994b、1995a、1997、2007）.....	18
2.4.2 堤（1998、2002a、2002b、2002c）.....	21
2.4.3 馬場（2006）.....	22
2.4.4 推論による照応.....	24
2.4.5 文章文脈指示のまとめ.....	24
2.5 それ以外の指示.....	25
2.5.1 観念対象指示と知覚対象指示.....	25
2.5.2 絶対指示—堀口（1978）、正保（1981）、吉本（1992）—.....	26
2.6 コソアの統一的説明.....	26
2.7 終わりに.....	27
第三章 コソアの基本義.....	29
3.1 はじめに.....	29

3.2	コの基本義.....	30
3.2.1	コの意味素性.....	30
3.2.2	コスキーマ・ネットワーク.....	32
3.3	ソの基本義.....	34
3.3.1	ソの意味素性.....	34
3.3.2	ソスキーマ・ネットワーク.....	37
3.4	アの基本義.....	39
3.4.1	アの意味素性.....	39
3.4.2	アスキーマ・ネットワーク.....	41
3.5	終わりに.....	42
3.5.1	コソアの基本義.....	42
3.5.2	指示機能を持つコソアの意味拡張.....	42
第四章	指示詞から接続詞への意味拡張—意味の希薄化による文法化—	45
4.1	はじめに.....	45
4.2	ソ系語を含む接続詞の先行研究.....	47
4.2.1	接続詞の定義.....	47
4.2.1.1	接続詞と指示詞の区別.....	47
4.2.1.2	接続詞における機能の種類について.....	50
4.2.2	指示詞と接続詞の接点.....	51
4.2.2.1	「それが」「それを」(庵 1996 a).....	51
4.2.2.2	「それも」(伊藤 2001).....	52
4.2.2.3	「そこで」「それで」(ひげ 1986).....	53
4.2.2.4	「そして」と「そうして」(馬場 2006).....	55
4.2.3	指示機能・照応機能・接続機能の連続性.....	56
4.3	実例分析—これから・それから・あれから—.....	57
4.3.1	「これから」.....	58
4.3.2	「あれから」.....	59
4.3.3	「それから」.....	60
4.3.4	「これから・それから・あれから」の意味拡張.....	63
4.4	指示詞から接続詞へ意味拡張—文法化と意味の希薄化—.....	64
4.5	おわりに.....	66
4.5.1	指示詞と接続詞の区別と連続性.....	66
4.5.2	意味拡張における「これから・それから・あれから」の違い.....	68
4.5.3	指示機能から接続機能へ.....	68
第五章	指示詞から感動詞へ意味拡張—抽出化による文法化—	69
5.1	はじめに.....	69

5.2	コソアを含む感動詞の先行研究.....	70
5.2.1	感動詞の位置付け—詞辞未分化の句—.....	70
5.2.2	感動詞の機能.....	71
5.2.3	感動詞の意味の広がり・連続性.....	72
5.2.4	「さあ」と「それ」の違い.....	73
5.2.5	「ええと」と「あの(一)」の違い.....	73
5.3	指示詞から感動詞へ—これ、それ、あれ—.....	76
5.3.1	感動詞「これ」.....	76
5.3.2	感動詞「それ」.....	79
5.3.3	感動詞「あれ」.....	81
5.4	指示詞からフィラーへ—「この、その、あの」について—.....	84
5.4.1	使用頻度の分析—談話の種類による相違—.....	84
5.4.2	フィラーが担う機能.....	86
5.4.3	「あの」しか使えない場合.....	87
5.4.4	フィラーと指示詞の連続性.....	89
5.5	おわりに.....	91
5.5.1	認知言語学との関わり.....	91
5.5.2	コソアを含む感動詞の意味拡張のまとめ.....	92
第六章	結論	94
6.1	コソアの拡張について—「抽象化」「抽出化」「意味の希薄化」—.....	94
6.1.1	コ系語の意味拡張.....	95
6.1.2	ソ系語の意味拡張.....	96
6.1.3	ア系語の意味拡張.....	97
6.1.4	意味拡張の一方向性.....	98
6.1.5	コソアの階層性.....	99
6.2	今後の研究課題.....	100
6.2.1	接続詞、感動詞以外のコソアの意味拡張.....	100
6.2.2	第五章の不備なところ—「この／その／あの」の使い分け.....	100
	参考文献.....	101
	謝辞.....	105